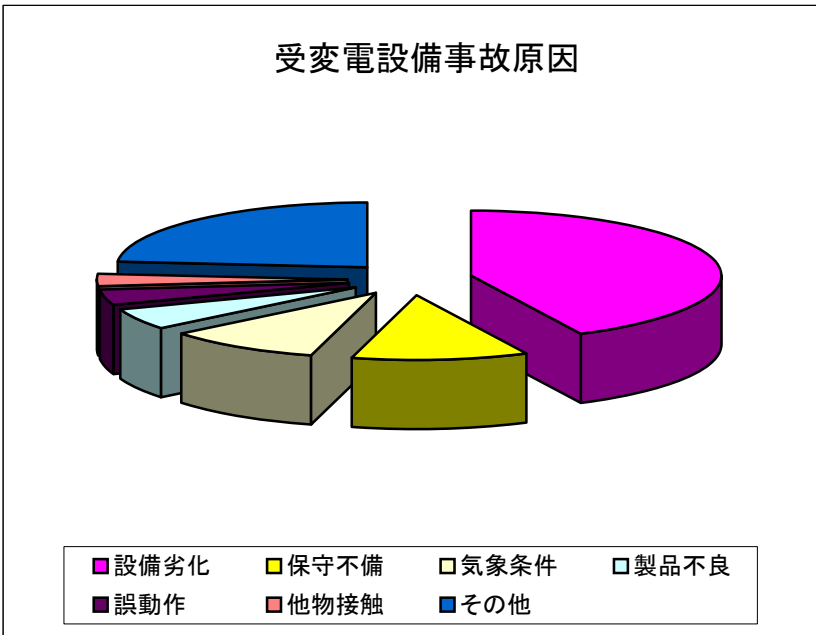


受変電設備事故

受変電設備の事故原因は、設備の劣化と保守の不備が半分以上を占めています。



設備劣化	42.50%
保守不備	11.40%
気象条件	9.80%
製品不良	5.30%
誤動作	3.80%
他物接触	3.20%
その他	23.40%

(社)日本配電盤工業会資料参照

設備更新

設置後20年が、受変電設備の更新の目安です。

機器

機器名称	交換推奨年	機器名称	交換推奨年
交流遮断機	20年	断路器	20年
変圧器	20年	VT・CT	15年
コンデンサ	15年	避雷器	15年
高圧交流負荷開閉器	15年	過電流継電器	15年
電力ヒューズ	15年	地絡継電器	15年

注) 交換推奨年は、日本電機工業会発行の「汎用高圧機器の更新推奨時期に関する調査報告書」及び(社)日本配電盤工業会発行「配電盤使用状況実態調査報告書」から抜粋。